

エンジン関係

現状	原因	処置
スタートが回らない場合	・ 間違ったキーでエンジン始動しようとしている。	・ “キーが違います エンジン始動できません”とメータパネルに表示されるので、正しいキーでエンジン始動する。
	・ 金属部品（キーホールダなど）をキーに取り付けている。	・ 金属部品をキーから外してエンジン始動する。
始動困難な場合	・ 燃料が流れない。	・ 燃料タンクを点検し、沈殿している不純物や水分を除く。 ・ 燃料フィルタとウォータセパレータエレメントを点検し、汚れている場合は交換する。
	・ 燃料送油系統に、空気や水が混入している。	・ パイプおよび締付けバンドを点検し、損傷があれば新品と交換または補修しておく。 ・ 空気抜きをする。 (詳細は燃料系統のエア抜きのしかた(104ページ)を参照)
	・ 寒冷時にオイル粘度が高く、エンジン自体の回転が重い。 ・ バッテリがあがり気味で、回転力が弱くなつて圧縮を越す勢いがない。	・ ラジエータに熱湯をそそぐ。 ・ バッテリを充電する。
出力不足の場合	・ 燃料不足。	・ 燃料を補給する。
	・ エアクリーナの目詰まり。	・ エレメントを掃除する。
突然停止した場合	・ 燃料不足。	・ 燃料を補給する。
排気色が異常に黒い場合	・ 燃料が悪い。	・ 良質の燃料に交換する。
	・ エンジンオイルの入り過ぎ。	・ 正規のオイル量にする。
水温計の表示が[H]を示す時 (エンジンのオーバヒート)	・ ウォータポンプのシール不良。	・ 交換する。
	・ ファンベルトの伸び、または切断。	・ 調整、または交換する。
	・ サーモスタットの不良。	・ 交換する。
	・ 冷却水の不足。	・ 規定量まで補給する。
	・ ラジエータネット、ラジエータフインのゴミ詰まり。	・ 掃除する。
	・ ヘッド、クランクケースの鋳で冷却水が汚れている。	・ 冷却水交換、防錆剤投入する。
	・ ラジエータキャップの不良(蒸発)。	・ 交換する。
	・ 冷却水通路の腐食。	・ 洗浄する。
	・ 連続過負荷運転。	・ 負荷を軽減する。
	・ ヘッドガスケットの破損(冷却水の減少)。	・ 交換する。
	・ エンジンオイルの不足。	・ 正規のオイル量にする。
	・ 燃料噴射時期の不良。	・ 調整する。
	・ 燃料が悪い。	・ 良質の燃料に交換する。

油圧関係

現状	原因	処置
作業機（ブーム、アーム、バケット）旋回、走行、ブレードの力不足、速度が遅い、または、動かない。	<ul style="list-style-type: none">作動油量の不足。ホース、配管継手部よりの油もれ。	<ul style="list-style-type: none">作動油を補給する。増締め、または交換する。

走行関係

現状	原因	処置
うまく走行しない	<ul style="list-style-type: none">クローラに石などがかみこんでいる。クローラの張りすぎ、ゆるみすぎ。	<ul style="list-style-type: none">除去する。調整する。